



■ 港町を象徴する夜間景観

神戸の海と山を結び、周辺の景観と調和する神戸らしい上質な外観をイメージし、高層部はガラスボックスを頂部に取り入れた特徴的なデザイン、低層部は旧2号館から継承した水平基調を意図したデザインとしています。夜は天井の高いホテルロビー空間がライトアップされ、まちの灯台のように遠くからも港町神戸を感じられるランドマークとなります。

神戸市役所本庁舎2号館再整備事業

「神戸の未来をけん引する交流・創造拠点づくり」



■ 旧2号館の歴史

1957 (昭和32年) 神戸市の4代目本庁舎として竣工
地上8階、地下1階建て
神戸の戦後復興を象徴する建築物



神戸市歴史公文書館提供

1989 (平成元年) 市会議事堂跡に本庁舎1号館が竣工
名称を「本庁舎2号館」に変更

1995 (平成7年) 阪神・淡路大震災により6階が崩壊



1996 (平成8年) 被災後の改修工事完了
5階建ての庁舎として再使用開始



2020 (令和2年) 本庁舎2号館としての業務利用終了

■ 計画概要

事業名称：神戸市役所本庁舎2号館再整備事業
所在地：神戸市中央区加納町6丁目5番1号
計画地面積：約4,900㎡
延床面積：約77,000㎡
建築面積：約4,350㎡
建物高さ：約135m
構造：鉄骨造 鉄筋コンクリート造
鉄骨鉄筋コンクリート造
規模：地下2階 地上29階 塔屋1階
主要用途：行政機能 - 市庁舎、(仮称) 市民利用空間
民間機能 - ホテル、オフィス、商業
設計監理者：竹中工務店・日建設計 設計共同体
(株式会社竹中工務店・株式会社日建設計)
施工者：株式会社竹中工務店
環境配慮評価：建物全体 - CASBEE神戸Sランク
市庁舎 - ZEB-Oriented相当 (BELS認証)

■ 事業主

オリックス不動産株式会社	阪急阪神不動産株式会社
関電不動産開発株式会社	大和ハウス工業株式会社
芙蓉総合リース株式会社	株式会社竹中工務店
安田不動産株式会社	神戸市

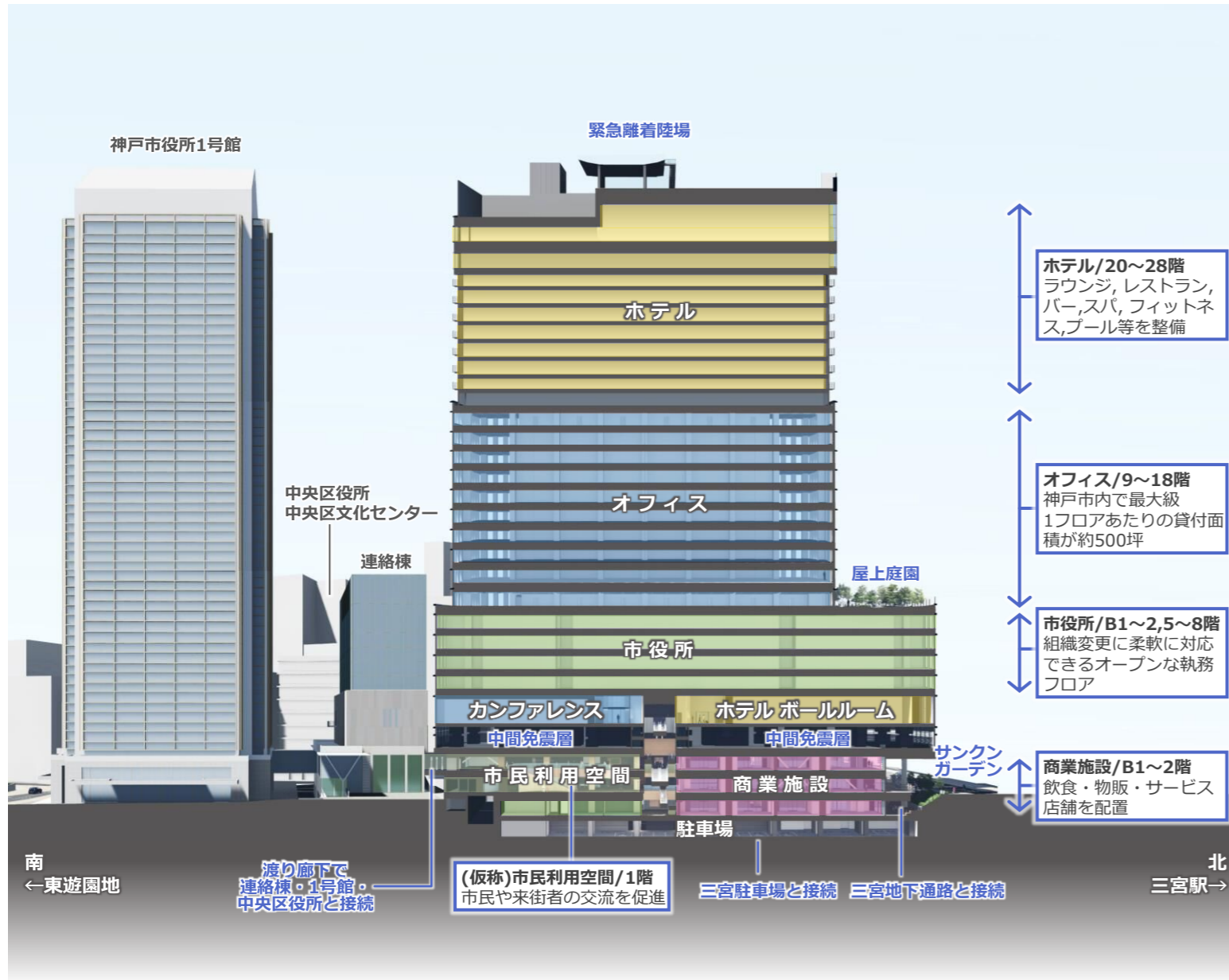
■ 今後のスケジュール

本格着工：2026年6月
竣工：2029年9月 (以降順次供用開始予定)

本紙に使用しているすべてのイメージは、現時点のものであり今後変更となる可能性があります。

三宮駅周辺～ウォーターフロントエリア間の活性化

- ・立地としては、繁華街である三宮駅周辺と旧居留地や再整備が進むウォーターフロントエリアを行き来する中間点にあたります。その特性を生かし、新たな出会いとコミュニティが生まれる公共機能と、国内外に神戸らしさや魅力を発信する民間の集客・にぎわい機能を導入します。
- ・地下通路などとのスムーズな接続や通り抜けができる施設内通路の整備を行い、歩いて楽しい神戸のまちの回遊性向上に寄与します。



環境・防災への取り組み

環境面では、建物全体で環境配慮に積極的に取り組んでおり、CASBEE神戸（神戸市建築物総合環境評価）で最も高いSランク、市庁舎部分においては「ZEB Oriented」相当を達成しています。

また、9階には魅力的な屋上庭園を設け、市民やオフィスワーカー、来街者などが緑に親しむ憩いの場所として開放いたします。

防災面では、中間階免震構造により地震時の安全性向上を図るとともに、重要設備室を上階に配置するなどの浸水対策を行うほか、民間エリアの一部を帰宅困難時の一時滞在施設として開放することを想定するなど、地域の防災に貢献します。



市庁舎部分：BELS認証 ZEB-Oriented 相当



建物全体：CASBEE神戸 Sランク

集客・交流を促進する機能の導入

- ・低層部分には、市役所機能のほか、商業機能、屋上庭園を複合的に配置し、来訪者がさまざまなアクティビティを楽しみながら滞在・回遊できる場を創出します。
- ・高層部分には、兵庫県初進出となるヒルトンのラグジュアリーブランド「コンラッド」とハイグレードなオフィスを導入します。4階にはホテルのボールルームや大小さまざまな会議室を備えたカンファレンス施設を整備し、ビジネス交流の機会創出を図ります。

CONRAD® KOBE

ホテル

兵庫県初の国際的ラグジュアリーホテル「コンラッド神戸」が国際都市・神戸の発展の中核を担います。



（仮称）市民利用空間・市役所

市役所の待合と一体となった「（仮称）市民利用空間」は、神戸らしく、木のぬくもりを感じられる開放的な吹抜け空間とします。また、市役所は間仕切りのないオープンな執務フロアとします。



オフィス

企業の進出ニーズに応じてフレキシブルに利用できるオフィスと、屋上庭園に面したオフィスワーカー専用ラウンジを整備し、オフィスワーカーのサポートと企業間交流の促進を図ります。



商業施設

地上1・2階、地下通路とつながる地下1階に、地域の魅力を発信するなど個性ある店舗を配置し、開放的なサンクンガーデンを整備することで、神戸のまちの回遊促進及び賑わい創出を図ります。



正面エントランス前空間

フラワーロードの歩道空間と一体的なデザインでしつらえ、市民に広く開かれた空間とします。